



東海村

議会だより

2024.1

第55号



目次

12月定例会

特集 再稼働の請願採択	P 2~3
保育料負担軽減事業費補助金可決	P 4
賛否の分かれた議案	P 5
村政を問う!〔一般質問〕	P 6~11
3月定例会日程(予定)	P 12

文化祭で披露された弓道連盟演武

再稼働の請願採択

原子力問題調査特別委員会では、再稼働に関する請願が令和3年6月に付託され、全5件の再稼働に関する請願の審査を行いました。その間、専門家の招致、東海第二発電所の現地視察、請願者、県および村から説明を受けるなどの調査を行い、令和3年6月から令和5年12月までに全41回の委員会を開催しました。令和5年12月定例会に請願審査報告書を提出し、採決を行った結果、2件の請願を採択しました。

請願審査のながれ

請願者から提出された請願は、委員会に付託され、委員会での審査終了後、委員会審査報告書を議会に提出し、本会議で審議が行われます。

採決までのながれ

2021	令和3年7月 村広域避難計画策定の進捗状況等の説明を受けた。
	令和3年11月 茨城県広域避難計画の現状と課題についての調査視察を行った。
2022	令和4年8月 日本原子力発電株式会社東海第二発電所調査視察を行った。
	令和4年8月～12月 専門家を招致し、説明を受けた。 (エネルギー政策、新規規制基準、広域避難計画、放射性廃棄物)
2023	令和5年5月 日本原子力発電株式会社東海第二発電所調査視察を行った。
	令和5年7月 資源エネルギー庁から「GX基本方針と今後の原子力政策の方向性」について説明を受けた。
	令和5年8月 村広域避難計画策定の進捗状況等の説明を受けた。
	令和5年11月 個別避難計画の作成の状況等の説明を受けた。
	令和5年9月～12月 付託された請願5件について採決を行った。

国への意見書

発議第2号

日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働についての意見書について

賛成

新政とうかい 大内則夫
原子力発電は地球温暖化を防止するCO2排出量の削減、エネルギー自給率改善、ベースロード電源として電源の安定供給に貢献している。政府も東海第二を含む7基の原子力発電所を再稼働させる方向性を明確に示している。

可決

大名美恵子
福島で大事故を起こした原発を「クリーンエネルギー」と称して再稼働・新設に突き進んでいる日本を、国際社会は「脱炭素の取り組みが遅れ、責任を果たしていない」と批判していることの直視を。

反対

令和5年12月定例会における結果および討論

請願第3-2号

日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働について意見書提出を求める請願(東海村商工会)

賛成

新政とうかい 河野健一

請願では、原子力発電は温暖化ガス排出削減に貢献し、エネルギー資源に乏しく電力自給率の低い我が国にとって、ベースロード電源として期待でき、重要性は一段と高まっていると述べている。同様の考えから賛成。

採択

村上 孝

JCOの事故で自宅退避、2名死亡、667名被ばく、福島第一原発は東日本大震災で大災害が起きた。現在セシウム137は半減期20年かかる。東海第二原発は防潮堤で問題になっている。再稼働すべきでない。

反対

請願第3-7号

日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働について意見書提出を求める請願(東海村環境整備事業協会)

賛成

新政とうかい 三上 修

東日本大震災以降、大型電源が停止して電力供給が不安定な状況下、輸入依存の地球環境に影響を及ぼす化石燃料が高騰、日本経済は物価高騰が続く国力は低下。脱炭素社会と安定電源確保が可能な行動に移行すべき。

採択

阿部功志

請願は地域活性化の根拠もなく、避難計画の問題に無関心。再生可能エネルギーを否定し、原発事故の時の責任問題や避難困難な住民に思いが及んでいない。原発の危険性など都合の悪いことに目を向けようとしていない。

反対

請願第4-1号

日本原子力発電株式会社東海第二発電所の燃料装荷に始まる再稼働に反対する意見書の提出を求める請願(東海第二発電所の再稼働に反対する会)

反対

新政とうかい 舛井文夫

日本の原子力の発祥の地として、60年以上に渡り原子力企業と共存共栄してきた本村が果たしてきた歴史的な役割を一番大切に考える。カーボンニュートラルに貢献できる原子力を活用することが必要不可欠と考える。

不採択

大名美恵子

稼働45年超の東海第二原発は、原子炉周囲の機器の劣化が懸念される。東日本大震災のように過酷事故を誘発すれば地域の壊滅、避難者のふるさと喪失、さらには首都圏の機能喪失にとつながる。

賛成

請願第4-2号

日本原子力発電東海第二発電所の再稼働に反対する請願(原発再稼働に反対する全国自治体議員の会)

反対

新政とうかい 大内則夫

昨年8月の読売新聞世論調査では、原子力発電所の運転再開について「賛成」58%「反対」39%である。最近では住民の原子力に対する理解が深まっていると感じている。よって、原子力発電所の運転再開に賛成する。

不採択

阿部功志

安全は多数決で決めてはいけない。原電の工事、避難計画、実行に遠い核廃棄物の処分など、不確定要素を理由に判断するのは非合理。事故の危険がある原発は絶対悪。将来世代に原発の負の遺産を押しつけてはならない。

賛成

請願第5-5号

「誰一人として取り残さない避難計画ができるまでは東海第二原発の再稼働は認めない決議」の採択を求める請願書(未来への風いちから)

反対

新政とうかい 飛田静幸

避難行動要支援者個々の事情に即した個別避難計画が作成されている。避難訓練時に要支援者と共に計画の検証を行っており、今後も避難訓練を通じて改善を図ることが重要。まずは避難計画を公表し実行性を高めるべき。

不採択

光風会 恵利いつ

多くの被災者との交流を通し、避難弱者の実情をよく知っているが故の切実な訴えである。本村で要支援者として把握されているのはわずか87名。そのうち25名の個別避難計画しかできていない現状では当然の請願だ。

賛成

12月議会 あらまし



※全議案の議決結果は
ホームページでご覧
いただけます。

令和5年第4回定例会（12月議会）が11月28日から12月15日までの会期で開催されました。一般質問は、12月6日から8日までの3日間行われ、9人の議員が質問しました。また、11日の予算決算委員会では令和5年度補正予算を審議しました。

15日の議案審議では、一般会計補正予算などの村長提出議案28件・同意2件をすべて可決・同意しました。また、議員提出議案3件を可決しました。

なお、今議会では原子力問題調査特別委員会に付託されていた請願5件について採決し、うち2件の請願を採択、3件を不採択としました。

補正 予算

子育て世帯の支援として

保育料負担軽減事業費補助金可決

物価高騰の影響を大きく受けている多子世帯の経済的負担軽減を目的として、第2子以降（0歳児～2歳児）の保育料を実質無償化します。その関連として、保育料負担軽減事業費補助金の補正予算を全会一致で可決しました。

対象月 令和6年1月～3月（3ヵ月分）

対象者 第2子以降の0歳児～2歳児

予算額 11,233千円



けやきの杜保育所

討 論



討論とは……

自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

デジタル社会への対応

議案第59号

東海村印鑑条例の一部を改正する
条例の制定について

コンビニエンスストア等の多機能端末機による印鑑登録証明書の交付に際し、個人番号カードに加え、スマートフォンに搭載された利用者証明用電子証明書による交付を可能とするため条例の一部を改正するもの

反対討論

大名 美恵子 議員

マイナンバー制度は国民に少々の利便性と引き換えに国があらゆる情報を一元管理し、徴税強化や社会保障費抑制をねらうもの。スマートフォン手続きでは情報漏えいやなりすましが危惧される。

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議員名 議案等名	新政とうかい										光風会		公明党		結果			
	飛田静幸	舛井文夫	大内則夫	越智辰哉	河野健一	武部慎一	吉田充宏	寺門定範	笹嶋士郎	三上修	江田五六	恵利いつ	岡崎悟	植木伸寿		大名美恵子	村上孝	阿部功志
請願第3-2号	○	○	○	議長	○	欠席	○	○	○	○	○	×	-	-	×	×	×	
請願第3-7号	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	×	-	-	×	×	×
請願第4-1号	×	×	×		×		×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○
請願第4-2号	×	×	×		×		×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○
請願第5-5号	×	×	×		×		×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○
議案第59号	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第61号	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第68号	○	○	○		○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	○	○	○		○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	○	○	○		○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	○	○	○		○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	○	○	○		○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	○	○	○		○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
発議第2号	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	×	-	-	×	×	×
発議第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	-	×	×	×		

○…賛成 ×…反対 -…退席

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案などの名称と要旨

請願第3-2号	日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働について意見書提出を求める請願 村内経済の維持及び長期的発展のために東海第二発電所の早期再稼働を求める意見書を提出することを求めるもの	議案第61号	東海村営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について 土地改良法の規定に基づき、その者に対する賦課金に代えて、当該土地改良区の同意を得てこれに相当する額の金銭の徴収を可能とするため、条例の一部を改正するもの
請願第3-7号	日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働について意見書提出を求める請願 脱炭素社会の実現と東海村経済の維持発展のために東海第二発電所の再稼働を求める意見書を提出することを求めるもの	議案第68号	指定管理者の指定について（東海村総合福祉センター）
請願第4-1号	日本原子力発電株式会社東海第二発電所の燃料装荷に始まる再稼働に反対する意見書の提出を求める請願 福島第一原発事故の教訓を踏まえ、日本原子力発電東海第二発電所の燃料装荷に始まる再稼働をさせないことを求めるもの	議案第70号	指定管理者の指定について（石神学童クラブ）
請願第4-2号	日本原子力発電東海第二発電所の再稼働に反対する請願 被災し老朽化した、危険な日本原子力発電東海第二発電所の再稼働の中止を求めるもの	議案第71号	指定管理者の指定について（舟石川学童クラブ）
請願第5-5号	「誰一人として取り残さない避難計画ができるまでは東海第二原発の再稼働は認めない決議」の採択を求める請願書 「誰一人として取り残さない避難計画ができるまでは東海第二原発の再稼働は認めない決議」の採択を求めるもの	議案第72号	指定管理者の指定について（中丸学童クラブ）
議案第59号	東海村印鑑条例の一部を改正する条例の制定について コンビニエンスストア等の多機能端末機による印鑑登録証明書の交付に際し、個人番号カードに加え、スマートフォンに搭載された利用者証明用電子証明書による交付を可能とするため、条例の一部を改正するもの	議案第73号	指定管理者の指定について（白方学童クラブ）
		議案第74号	指定管理者の指定について（照沼学童クラブ）
		議案第75号	東海村営土地改良事業の施行について 国営那珂川沿岸農業水利事業で造成された施設のうち、公共性及び公益性が高い基幹的施設については、水戸市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、茨城町、大洗町、城里町及び本村が共同で管理し、事業主体となり事業を施行するため、議会の議決を求めるもの
		発議第2号	日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働についての意見書について 村内経済の維持及び中長期的発展のために日本原子力発電株式会社東海第二発電所の早期再稼働を求める意見書を提出するもの
		発議第3号	日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働を求める意見書について 脱炭素社会の実現と東海村経済の維持発展のために日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働を求める意見書を提出するもの

村政を問う!

一般質問

吉田 充宏 議員 P.7

- 1 広域避難計画の公表に向けた取組について
- 2 東海村職員定数について
- 3 部活動の地域移行について

三上 修 議員 P.7

- 1 物価高騰の村民支援は関係課連携で
- 2 こども食堂の運営には支援が必要
- 3 村営合同墓建設の村民意向はいかに
- 4 住民生活に支障を来す特定空家の対策を

阿部 功志 議員 P.8

- 1 避難計画の公表に向けての課題は
- 2 避難計画における「ターミナル方式」の課題は
- 3 原電による取水口の基礎の施工不良について
村長の見解は

村上 孝 議員 P.8

- 1 有機農産物について
- 2 ほしいも残渣について

大内 則夫 議員 P.9

- 1 床上浸水、床下浸水、道路冠水を確認し、緊急対策が必要
- 2 新川と南新川（農業用排水路）の被害と対策について
- 3 エレガンスヒルの排水対策について

植木 伸寿 議員 P.9

- 1 総合計画の取組状況は
- 2 ウォーカブルなまちづくりへの取組は
- 3 視覚障がい者の情報取得に向けた取組は

大名 美恵子 議員 P.10

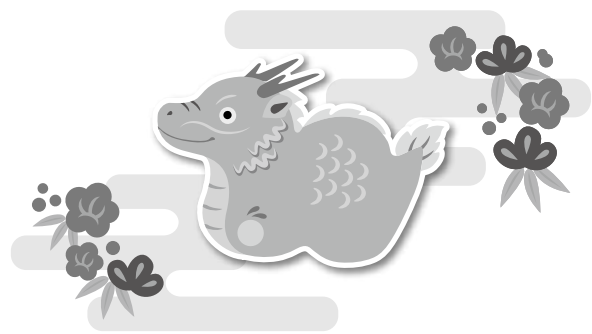
- 1 加齢性難聴に係る補聴器購入に補助を
- 2 東海第二原発の防潮堤工事における問題関連
- 3 台風等大雨時の冠水対応
- 4 東海村小・中学校の教員不足の状況

岡崎 悟 議員 P.10

- 1 総合体育館及び小中学校体育館へのエアコン設置について
- 2 4度目の水道料金1検針分（2か月）の減免について
- 3 学校給食へのさらなる費用助成について
- 4 選挙時の投票支援について

笹嶋 士郎 議員 P.11

- 1 石神城址公園の利用計画について
- 2 中央土地区画整理事業の調整池について
- 3 五反田線と富士山線の接続について
- 4 コロナ後における国際交流について



※青字の質問を掲載。
※議会ホームページでもご覧いただけます。

東海村議会

検索



問 避難場所の確保状況は

答 年内に全村民分を確保できる予定



新政とうかい
よしだ みちひろ 議員
吉田 充宏

問 避難場所の確保状況は。

答 12月1日現在で、約130箇所・約37000人分強が確保済みで年内には全村民分の避難所が3市内に確保できる見込み。

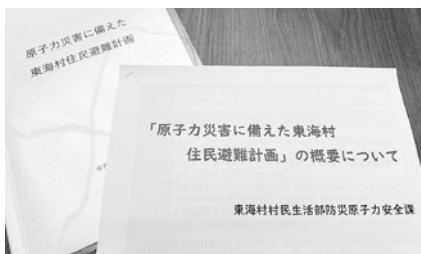
問 避難所に関わるマンパワー不足が課題と認識しているが。

答 村と避難先自治体との役割分担や避難所開設順位を定めることで軽減を図り、避難が必要になった段階から自衛隊や電気事業者、県や国に対して支援を要請する。災害時の避難所運営について民間警備会社と応援協定の

締結に向けて調整中。

問 議員への説明や住民への周知・理解活動の計画は。

答 議員には、防災会議の開催前に説明する。周知は、原子力安全対策懇談会での意見も踏まえ、広報紙やホームページへの掲載、分りやすいパンフレットの作成・配布、各種イベントでの周知活動を考えている。住民には初動・避難行動・避難先を理解いただき、自宅以外で情報入手できることが避難の実効性向上に繋がる。



防災会議説明に使用した資料

問 合同墓建設の村民意向と対応は

答 早期の整備着手に向け取り組む



新政とうかい
みかみ おさむ 議員
三上 修

問 村民の生活スタイルの多様化や少子高齢化に伴って、村営の合同墓建設の要望は日増しに高まっている。村民の墓地に関する意識調査のアンケート結果はいかに。

答 お墓に対する住民の意識やニーズを把握するため、8月にアンケートを行い、836人の村民から回答があった。約48%の方が合葬式の墓地や納骨堂を希望し、約84%の方が村営合同墓の必要性を感じている。また、アンケートの自由意見では、従来の墓地の継承者に関する将来的な

不安や負担感の意見が最も多く見られた。

問 アンケート結果からも、村営合同墓の設置を求める住民ニーズの高さを改めて確認した。村民の意向に対する今後の対応はいかに。

答 今後、合同墓の導入を見据えて、規模や種類、長期的な観点からの財政運営の試算等を取りまとめた基本計画を策定する。



近隣市内の合同慰霊施設
写真提供：公益財団法人 日立平和台霊園

住民の皆様への期待に沿えるよう、早期の整備着手に向け取り組んでいく。

問 広域避難における 様々な課題は

答 国の「緊急時対応」で整理される



あべ こうし 議員

問 村民38000人の避難先は施設が足りないが、確保の見通しはどうか。避難用バス・福祉車両は台数が全く足りず先が見えないが、確保の見通しは。

答 避難先3市の中で全村民分の避難先確保の見通しが立った。避難車両は事業者の理解が肝要。県が運転手に対する研修や訓練への参加を呼び掛けている。

問 避難が困難な村民の把握状況と対策は。

答 要支援者の身体や精神面の状況、村外へのバス移動に問題がないかを職員が個別訪問して確認している。バス

移動が困難な方は放射線防護対策を講じた施設で屋内退避し、福祉車両が整い次第、避難先の施設へ搬送する想定。個別避難計画を作成する中で実効性を高めていきたい。

問 そのほかの課題とその解決策は。実効性はどうかやって検証するのか。

答 交通渋滞、混乱が考えられるが、国がまとめる「緊急時対応」で整理されると認識。実効性向上のためには住民の初動の理解が重要。周知を進める。



最近の東海第二原発（12月11日撮影）

問 オーガニック給食導入の可能性

答 全国オーガニック給食協議会参加



むらかみ たかし 議員

問 子どもたちの健やかな発育、健康の維持体力の推進など学校給食の役割はとも重要より安心、安全な食材を提供するオーガニック給食の導入と学校給食の無償化について伺う。

答 オーガニック食材を使用した給食提供の可能性を検討する。無償化は、国や他の自治体の動向を注視しながら検討していく。

問 地域計画策定に向けた地域座談会を活用し、有機栽培の推進や有機農産物の認知度を高めることはどうか。

答 有機栽培を実践する農業者やJA常陸をはじめとする関係者と一緒に考えていく。

問 ほしにも残渣の再資源、利活用は

答 資源循環モデル形成支援を利用

問 原料のサツマイモの約3割は破棄されているが利活用は。

答 当該事業の進捗状況を注視し、先進事例等の情報を収集し残渣対策や利活用等の有益な情報提供に努めていく。



ほしにも残渣を載せたトラック

問 浸水・冠水の緊急対策が必要

答 短期・長期の冠水低減対策を実施



新政とうかい
おおうちのりお 議員
大内 則夫

問 豪雨災害に対して短期・長期計画を策定し、出来るところから対策を講じるべき。

答 短期的な計画として、冠水箇所などの地形や排水路の測量などの調査を行い、雨水合流箇所の改修など冠水の低減に向けた対策を実施する。長期的な計画としては、東部排水路の雨水幹線バイパス管の詳細設計や絆北側2号調整池の着工等を予定している。

問 新川の大雨対策は引き続き強く要望していく

問 新川が大雨のたび被害を受ける原因は。

答 新川は那珂市内を水源とし、ひたちなか市、東海村の広範な流域の都市的排水の流末として治水機能を果たしている。降水時には、農業用排水路としての排水能力を超える。

問 新川の河川整備促進及び河川指定区域延伸が被害を防ぐには重要であることが分かった。村長の意気込みは。

答 新川の要望は首長懇話会にて行ってきた引き続き強く要望していく。



新川の様子

問 音声コード活用への考えと取組は

答 導入事例等を参考に検討する



公明党
うえきしんじ 議員
植木 伸寿

問 全ての障がい者が社会を構成する一員としさまざまな分野の情報を取得・利用が図れるよう2022年5月障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法を施行した。それに伴い、先進事例では公共からの通知やハザードマップや選挙投票入場券などにも、視覚障がい者のために音声コードを利用する自治体も出てきている。村の考えや取組みを伺う。

答 障害者総合支援法に基づき日常生活用具給付事業において読み上げ機器や文字拡大機

器などの費用を一部助成している。また、広報誌は社協により音訳・点訳などを行い毎月発行・発送している。

問 音声コードを活用し目で聞くハザードマップなど「誰一人取り残さない」みんなに伝わる防災情報の運用事例も聞いている。必要な方に情報が確実に伝わるのが大切であるが、村の取組は。

答 音声コードについて利用状況や課題等も含め、他自治体の導入事例を参考に検討を進める。



大切な情報を誰もが自身で取得できる社会を

問 加齢性難聴の補聴器購入に補助を

答 幅広い年代への支援を考えている



おおなみえこ 議員
大 名 美 恵 子

問 先の6月議会に本件に関する陳情をされた村内耳鼻科医師の説明は大変意義深く、これを機会に補助制度を創設すべき。傍聴された受け止めはどうか。

答 高齢者の難聴には早い段階での介入が必要。難聴は日常会話に支障を来し、家族や社会からの孤立化につながる。認知症を進める危険因子の一つであることを再認識した。適切な補聴器導入でコミュニケーションが活性化し、生活の質の向上、認知機能の低下抑制につながる。国や県、他の自治体

の動向を注視しつつ、専門家など関係者の意見も聞きながら、効果的な事業実施に向けた検討をしていく。

問 現在の取り組みや新たな補助制度の導入時期や対象年齢などを問う。

答 令和6年度事業実施に向けて、他市町村の状況確認や専門家、医療機関などの調整を進めている。難聴が及ぼす影響を考慮し、加齢性難聴の方だけでなく幅広い年代への支援を考えている。



補聴器の装着でコミュニケーションが活性化

問 村総合体育館等にエアコンを

答 令和6年度設計、7年度に工事



公明党
おかざき さとる 議員
岡 崎 悟

問 コミュニティセンター多目的ホールにエアコンが設置され、暑い夏、快適なスポーツを体感した利用者から、村総合体育館等にエアコン設置を求める声をいただいた。総合体育館や各小中学校体育館へのエアコン設置は、熱中症対策として重要な取り組みと考える。村の考えを伺う。

答 総合体育館のメインコート等での空調設備設置は、熱中症対策の必要性から、空調方式等の検討を進めてきた。今後は、令和6年度に空調方式の決定及び設計を行い、令和7

年度に設置工事を行う方向で関係部署と調整を進めている。また、小中学校体育館においても熱中症対策から、空調設備の設置は有効と考える。一方で、空調設備の設置を検討するにあたり、学校の状況に応じた空調の仕様、老朽化した体育館の改修、設置後のランニングコストなど課題があることから、実情の確認をはじめ施設の調査を図り、情報の収集と暑さ対策に取り組みたい。



体育館に空調設備を

問 東海駅両側に高架橋を考えると

答 五反田線周辺道路の有効活用優先



新政とうかい
ささしま しろう 議員

問 動燃線や原研道路の朝夕の交通渋滞の解消のため、避難道路として重要になる五反田線と富士山線を、東海駅の水戸側、日立側に1車線ずつ高架橋をかけたつなぐ計画を考えるとはどうか。

答 新たに駅舎近くに鉄道と道路を立体交差化させる事例は、周辺の常磐線各駅の土地利用を見ても、あまり例がない状況である。実現には、多くの時間と費用を要することが想定され、村内全体の交通状況の変化を適切に把握していきたいと考える。



東海駅東広場と五反田線

問 五反田線と富士山線をつなぐことは、どんな困難を前にしてもやらなければならぬ。国道245号線までの五反田線延伸が中止になったが、避難道路としても重要になる五反田線延伸を復活させるべき。

答 五反田線の延伸については、これまで細浦地区の貴重な自然環境の保全や地球環境問題の顕在化などにより、取りやめた。これまでの経過からも五反田線周辺既存道路の有効活用を優先していく。

委員会レポート

総務委員会

菊川市・藤枝市を視察しました

総務委員会では、10月3日、4日に、行政視察のため静岡県菊川市と藤枝市を訪問しました。市民協働のまちづくりを進めている姿を目の当たりにし、おおいに刺激を受けた視察となりました。

①菊川市市民協働センター センターの役割と若者参加のまちづくりについて

市役所隣にある市民協働センターを拠点として、高校生やNPO法人などの若者の自主性、積極性を生かした様々な取り組みが行われていました。

②藤枝市役所 デジタル化の推進とデジタルディバイド対策について

地域でDXを推進する人材の育成やICTを活用した働き方改革、地域のDXを推進する取り組みが行われ、「安全安心な暮らし」、「手続きの利便性向上」、「事務の効率化、働き方改革」などが進められていました。



菊川市市民協働センターでの視察の様子

大変お世話になりました。



最後の定例会を終えた議員17人 (任期:令和2年2月1日~令和6年1月31日)

表紙写真の紹介



未来へ

昨年秋、文化祭で披露された東海村弓道連盟の演武。まるで、時間が止まったかのような凛とした空間で繰り広げられる稽古。世代を超えて射手と師範が目指す真・美・善の求道に、持続可能な東海村の未来が見えます。

傍聴から
はじめよう!

どなたでも傍聴できます。役場議会棟2階にお越しください。(受付は30分前から)

傍聴の定員は50名



3月 定例会日程(予定)

村内各コミセン
総合福祉センター「絆」でライブ配信中



期日	時間	内容
3月1日(金)	午後1時~	開会
3月11日(月)	午後1時~	代表質問
3月12日(火)	午前10時~	代表質問
3月13日(水)	午前10時~	一般質問
3月14日(木)	午前10時~	一般質問

期日	時間	内容
3月15日(金)	午前9時~	予算決算委員会
3月18日(月)	午前9時~	予算決算委員会
3月19日(火)	午前9時~	予算決算委員会
3月22日(金)	午前10時~	予算決算委員会
3月27日(水)	午前10時~	議案審議

※日程は変更になる場合があります。
※開会・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。